

豊かな心と確かな学力をもつ子どもの育成

～ICTを活用した効果的な複式授業の追求～

猿払村複式教育研究部会

1. 研究主題について

今年度の研究主題を『へき地・複式・小規模校の特性を生かした、豊かな心と確かな学力をもつ子どもの育成』とし、ICTの活用を軸とした効果的な複式授業の構築を目指している。

また、今年度は、宗谷管内教育研究大会の授業公開に向け、各校で授業改革を計画的に行ってきた。

2. 複式授業におけるICTの活用

猿払村では、今年度村内小中全校にAIドリル『Qubena』を試験導入し、活用している。複式授業ではどうしても教師が児童につけない場面が生じるが、AIドリルなどの学習アプリを活用し、児童がスムーズに自ら学習を進めることができるようになった。

高学年では、Google classroomを利用し、学校間交流を行い、様々な考え方に触れる機会となった。

3. 宗谷管内教育研究大会猿払・浜頓別・中頓別大

○浜鬼志別小学校

1・2年学級と3・4年学級の算数科の授業を公開。研究主題「自分の考えを互いに伝え合い、粘り強く、問いを解決していく子どもたちの育成～浜スタ・算数科を通して～」達成のための手立てをICT活用、学び合いなど様々な活動場面を設定。複式指導の中での効果的な手立て・方法について検証することができた。研究討議では、ジャムボード



○知来別小学校

知来別小学校では、低学年と高学年の複式2学級を公開した。今年度異動により教員も大きく変わったことから、研究を再度見つめ直し、「自分で問題解決ができる子どもの育成」とし、算数科において読解力を高める授業づくりに取り組んできた。

研究大会では、2つの複式学級、1・2年生と5・6年生を公開した。研究主題に基づき、児童が算数用語を用い、筋道立てて説明する活動を取り入れながら、課題を解決していく授業を行った。効果的なICTの活用や個別支援、研究の方向性について、本校の研究をさらに深めることができた。

○浅茅野小学校

浅茅野小学校では、道徳推進教諭による3・4年道徳を公開。道徳の授業は、基本的に担任が担当するが、授業改善を図るため、道徳推進教諭が定期的に他学年の授業を行い、教員同士が学びあう体制をとっている。

『考え、議論する道徳』をごく少人数の複式学級でどう展開するかを課題として、道徳授業改善を進めている。研究大会では、内容項目を2学年同内容に揃えることで、学年ごとに思考する場面、2学年合わせて意見交流する場面を作る授業を行った。

4. 今後の方向性

宗谷管内教育研究大会では、さまざまなご意見をいただいた。それらを参考にしながら、今後またさらに授業改革を進め、個別最適な学びと協働的な学びにつなげ、確かな学力の定着を図る。

ICTの活用についても、各校で校内研修を進め、また、猿払村複式部会を通して、それを学校間で交流するなどして、授業に効果的に活用できるよう推進していく。